

東地区地域づくり協議会々報  
発行 平成30年3月1日  
発行責任者 佐藤成孝  
茗荷沢268番地1 (東開発センター)  
電話 025-779-3312

## 独自性を生かし これからも

八海山麓スキー場が50周年



八海山麓観光施設指定管理者  
(株)アクティ会長 井口優 (72)

### 公益事業の成果に

#### 確信と感謝

八海山麓スキー場開設50年の今シーズンは、順調な降雪にも恵まれ絶好のコンディションとなりました。

オレンジ色のゼッケンを付けた、ジュニアスキークラブの子どもたちが、毎日元気よく楽しそうに滑っています。

合併後、弊社が八海山麓観光施設の管理運営を受託させてもらってから、11シーズンが過ぎようとしています。この間、地域の皆さんから絶大なるご理解とご協力をいただき、安全第一を目標



スキー場の入り口広場で快晴の中

に積極的に取り組み、公益事業としての成果を上げることができました。ここに改めて深く感謝し、厚くお礼を申し上げます。

何といたっても自然が相手のため、天候次第で大変なシーズンもありましたが、小中高校のスキー授業、各種スキー大会、肢体不自由児の皆さんを迎えての「雪と遊ぼう、親と子の療育キャンプ」など、独自性を活かした公営スキー場としての運営を行ってきました。

また、グリーンシーズンには、水無川サイクリングロードを走る「南魚沼サイクル・フェスタ」、紅葉の水無溪谷ウオーキング大会と、国際大学生との田植えや稲刈り交流、地域上げての「東地区里山文化祭」は大変好評でした。

このように「東地区地域づくり協議会」と共催の「八海山麓自然体験楽校」は、市営観光施設の

利点を活かした、公益事業の成果であると確信しています。

### 自然体験楽校の重要な施設

水無川の八色原扇状地には、魚沼基幹病院をは

じめ、特別養護老人ホーム等医療福祉施設が充実し、国際大学、北里学院、国際情報高校の教育施設と、池田記念美術館などの文化学園都市が整備されています。

2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、新潟県が「パラリンピック」の会場になるとの話題もあります。また、2030年を目標とした「新潟県広域都市計画マスタープラン」が策

定され、大和地区が魚沼圏域の中心都市としてのプランニングも進んでいると聞いています。

この恵まれた大自然と、社会資本投資が調和する水無川流域において、成熟期を迎えた八海山麓スキー場は、サイクリングターミナルと共に「八海山麓自然体験楽校」の重要な拠点として欠くことの出来ない施設となっています。

今後、市の将来計画「自然・人・産業の和で築く安心のまち」を目指した、「南魚沼市メディカルタウン構想」の健康増進スポーツ基地としたいと考えています。

### 新しい計画を作成

つきましては、南魚沼市ご当局及び東地区地域づくり協議会など各関係団体のアドバイスを受けながら「新・八海山麓自然体験楽校計画」を策定

し、地域の皆さんと積極的に取り組みたいと思っています。

### 平川さんの発想が山麓スキー場に

### 大和中の成果や皆川・小野塚両氏

#### の活躍にも

50年前、かつての大和町営八海山麓スキー場は、全国のスキー場を知りつくした、浦佐スキー場の平川警吉さんの発想とご指導により昭和43年オープンしました。

浦佐の第2スキー場として、県中学校スキー大会はじめ、全国JRスキー大会、横浜市、熊谷市民スキー大会など、競技大会を主軸に運営を行ってきました。

その結果、大和中学校の男女2人が、全国中学校スキー大会で優勝、世界的プロスキーヤーの皆川氏、平昌オリンピックで活躍した小野塚さんも、この「八海山麓ミズノ杯ジュニアスキー大会」がスタートでした。

また、1972年「日中国交正常化」により、中国、ベトナムなど東南アジアの青年と、大和町の青年達の「国際スキーキャンプ交流会」が行われました。初めて迎える200人近い外国人に戸惑いながらも楽しい国際交流がつづき、昨年は「中国・日本語教師訪日団」が来日し、市長表敬と八海醸造の雪室などを見学しました。

※

生前、平川さんがワインを飲みながら、「井口君、水無溪谷はすばらしい。駒ヶ岳は日本のスイスだよ。その拠点が八海山麓スキー場だ。過当競争で閉鎖するスキー場もあると思うが、八海山麓スキー場は残るよ。それだけの可能性がある地域だよ。」と、言われたことが今も教訓(遺言)として甦ってきます。

(寄稿)

(株)アクティは平成20年設立同年から南魚沼市の八海山麓観光施設(スキー場 サイクリングターミナル 体育館)の指定管理者。